

SEC 成果報告一覽

号数	号数 (通し)	発行日	タイトル	内容
6	第2巻第2号 (通巻6号)	2006年 4月28日	SEC2005年度 活動概要	<p>◆エンタプライズ系</p> <p>エンタプライズ系活動 見積り手法 定量データの定義・収集・分析—ソフトウェア開発データ白書 2006 & データ定義 Ver.2.0 のリリース— ソフトウェア開発における要求品質の確保 要求工学、設計・開発技術 プロジェクト見える化とは—下流工程編—</p> <p>◆組込み系</p> <p>組込みソフトウェア・エンジニアリング 組込みソフトウェアの組織的な開発の実現—開発プロセスガイドと開発計画書ガイドの策定— 組込みソフトウェア実装品質向上—組込みソフトウェア向けC言語コーディング作法ガイドの策定— 組込みスキル標準 (ETSS) ETSS スキル基準 Version 1.1 ETSS キャリア基準 Version 1.0 ETSS 教育研修基準 Version 1.0</p> <p>◆先進ソフトウェア開発プロジェクト 先進ソフトウェア開発プロジェクト</p> <p>◆共同研究</p> <p>ベイズ識別器に基づく混乱予測に利用するメトリクスの統計的選択 先進ソフトウェア開発プロジェクトにおけるコードクローン分析 組込みアーキテクチャとそのプログラミングについての調査 ETSS 向け教育プログラム評価手続きの策定 デジタル製品向け組込みソフトウェア—開発力と競争力について— 組込みソフトウェア教育における体験型学習の調査 協調フィルタリングを活用した工数見積り 組込みソフトウェアにおけるユーザビリティ 形式的手法の実用化を目指して 見積り手法の実証評価—CoBRA 法と OSR 法—</p>
10	第3巻第2号 (通巻10号)	2007年 5月28日	SEC2006年度 活動概要	<p>エンタプライズ系活動概要 組込み系活動概要</p> <p>◆エンタプライズ系</p> <p>「共通フレーム 2007」の概要 要求工学、設計・開発技術活動概要 見積り手法 (改造型開発) ITプロジェクトの「見える化」上流工程編 プロセス改善研究 定量データ分析</p> <p>◆組込み系</p> <p>組込みソフトウェアエンジニアリング領域の状況 組込みソフトウェア開発のプロセス面の支援</p>

号数	号数 (通し)	発行日	タイトル	内容
				<p>組込みソフトウェア開発のプロジェクトマネジメントの支援 ツール諸元表の策定 組込みスキル標準 (ETSS)</p> <p>◆共同研究</p> <p>COSE におけるデータ分析とフィードバック プロジェクトの遂行及び生産性に影響を与える要因の分析 相関ルールマイニングを用いたソフトウェア生産性の決定要因抽出 異なる FP 手法間における FP 変換式の導出 推定・近似に基づいた機能規模計測法間での変換法 相互比較可能な形式への FP 値の変換方法に関する検討 先進ソフトウェア開発プロジェクトにおけるソースコード分析 組合せ・すり合わせ視点での組込みソフトウェア分析調査 形式検証技術の設計検証への実用化に向けて ETSS 向け教育研修コースを対象とした評価フレームワーク 品質モデル適応型テストプロセスの研究 組込みソフトウェア教育の実施効果に関する調査 コンポーネントベース高信頼性実時間組込みシステム構築技術の研究 性能指向組込みソフトウェアの研究：並列化、ハードウェア化を目的とした C 言語記述に関する記述作法</p>
14	第 4 巻第 2 号 (通巻 14 号)	2008 年 9 月 30 日	SEC2007 年度 活動概要	<p>SEC2007 年度成果報告</p> <p>◆エンタプライズ系</p> <p>定量的マネジメント領域 ビジネス・プロセス改善領域 要求とアーキテクチャ領域 高信頼ソフトウェア領域</p> <p>◆組込み系</p> <p>組込みソフトウェア・エンジニアリング領域 組込みスキル領域</p> <p>◆共同研究</p> <p>先進ソフトウェア開発プロジェクトにおける Fault-Prone モジュール予測へのコードクローン分析の適用 インプロセス・プロジェクトデータの分析技術の開発 定量データの詳細解析に関する研究調査実施報告 生産性モデルの検討と信頼性モデル構築への提言 企業横断データからの相関ルールマイニングによるプロジェクト改善案の抽出 形式検証による組込みソフトウェア検証の実用化 高信頼性ソフトウェア開発のためのテスト技術に関する研究 ETSS 向け教育研修コースを対象とした評価フレームワーク 組込みソフトウェア教育効果計測のための調査研究 ETSS 国際標準モデル化に関する研究 機能安全に関する先行研究 (調査報告)</p>

号数	号数 (通し)	発行日	タイトル	内容
17	第5巻第3号 (通巻18号)	2009年 6月30日	SEC2008年度 活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆エンタプライズ系 <ul style="list-style-type: none"> 定量的マネジメント領域 ビジネス・プロセス改善領域 要求・アーキテクチャ領域 高信頼ソフトウェア領域 ◆組込み系 <ul style="list-style-type: none"> 組込みソフトウェア・エンジニアリング領域 組込みスキル領域 ◆共同研究 <ul style="list-style-type: none"> 定量的データに基づいたソフトウェアプロジェクト診断のためのチェックリスト導出を目指して ソフトウェア信頼性モデル構築に関する調査研究 ソフトウェア安全の基礎概念と方法論 機能安全に関する先行研究 高信頼性・生産性組込みソフトウェア設計手法に関する調査研究 スキルの海外標準化に関する研究 ◆SEC成果の普及
21	第6巻第2号 (通巻23号)	2010年 6月30日	SEC2009年度 活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆組込み系 <ul style="list-style-type: none"> 組込みソフトウェアプロジェクトの状況 組込みスキル領域 ◆エンタプライズ系 <ul style="list-style-type: none"> 定量的マネジメント領域 ビジネス・プロセス改善領域 要求・アーキテクチャ領域 高信頼ソフトウェア領域 重要インフラ情報システムの信頼性向上に向けた取り組み 非ウォーターフォール型開発の現状と課題～非ウォーターフォール型開発に関する調査、及び研究会における検討結果～ ◆統合系 <ul style="list-style-type: none"> 統合系
25	第7巻第2号 (通巻27号)	2011年 6月30日	SEC2010年度 活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆統合系 <ul style="list-style-type: none"> 統合系プロジェクト設置の狙いと取り組みについて 利用者にわかりやすくソフトウェア品質を説明する仕組みの提案 モデルベース開発技術による信頼性向上にむけて ソフトウェアの高信頼化手法の実践にむけて 重要インフラ情報システムの信頼性向上のための指針 ◆組込み系 <ul style="list-style-type: none"> 組込みソフトウェアの高品質化への取り組み ◆エンタプライズ系 <ul style="list-style-type: none"> 定量的プロジェクト管理の推進 要件定義とアーキテクチャ設計の品質向上 ビジネス・プロセス改善の推進 多様な開発モデル等への対応 ◆国際連携活動 <ul style="list-style-type: none"> 国際連携活動

号数	号数 (通し)	発行日	タイトル	内容
29	第8巻第2号 (通巻31号)	2012年 6月29日	SEC2011年度 活動概要	<p>◆統合系</p> <p>発足後2年目を迎えた統合系プロジェクトの取り組み ソフトウェアの品質説明力強化 形式手法・モデルベース開発技術の推進 高信頼なソフトウェアの開発・管理に向けて</p> <p>◆組込み系</p> <p>組込み系ソフトウェアプロジェクトの状況</p> <p>◆エンタプライズ系</p> <p>定量的プロジェクト管理の推進 要求・仕様の高品質化に向けて ビジネス・プロセス改善の推進 新たな技術動向等に対応したソフトウェアエンジニアリング手法 ITサービス継続計画策定のための指針の作成</p>
33	第9巻第2号 (通巻35号)	2013年 7月31日	SEC2012年度 活動概要	<p>◆統合系</p> <p>統合システムの安全・安心に向けた2012年度の取り組み ソフトウェア品質説明力強化の取り組み 上流品質技術強化 形式手法普及活動の取り組み 上流品質技術強化 コンシューマデバイス機能安全規格化の取り組み 上流品質技術強化 MBSE 導入の手引き</p> <p>◆エンタプライズ系</p> <p>ビジネス・プロセス改善の推進 超上流及び上流工程の品質向上に向けて 定量的プロジェクト管理の推進 定量的な目標管理手法の普及活動の展開～組織目標達成とIT導入の整合性を図る「GQM+Strategies®」の活用～ 非ウォーターフォール型開発手法の普及に向けて ITサービス継続計画の策定を推進</p> <p>◆組込み系</p> <p>組込み系ソフトウェアプロジェクトの状況</p>
37	第10巻第2号 (通巻39号)	2014年 7月1日	SEC2013年度 活動概要	<p>◆システムグループ</p> <p>ソフトウェア障害情報の収集・分析及び対策 重要インフラ等システム障害対策 (製品・制御システム) 重要インフラ等システム障害対策 (ITサービス) 定量的プロジェクト管理による信頼性・生産性向上 コーディング作法ガイド: ESCR [C言語版] Ver. 2.0の発行 ソフトウェア・エンジニアリング成果の普及展開</p> <p>◆ソフトウェアグループ</p> <p>ソフトウェア信頼性の見える化～2013年度の取り組み～ ソフトウェア品質説明力の強化の促進～サプライチェーンにおけるソフトウェアの高信頼化～ 品質説明力の強化に向けた「制度ガイドライン」の活用 先進的な設計・検証技術の適用事例 コンシューマデバイス機能安全規格化の提案のコンセプトと取り組み</p>